

ヒル 理奈（ヒル リナ）

2017 年～入社、背番号「35」コートネームは「リナ」。
ポジションは、ガード。



～コメント～

印象に残っている試合や出来事は様々ありますが、その中でも 2019 年の皇后杯は特に印象に残っています。

.....

埼玉へ移動する 1 週間ほど前のとある日の練習前に、イヴァン HC がスペインの友人から贈られてきたギフトを自分たちにも見せたいと言って、メンバーを 1 人ずつ部屋へ呼び、箱の中を見るように言った。それを見れば「皇后杯で自分が何をすべきかが分かるから」ということだった。部屋へ入ると、段ボール箱とその横には紙とペンが置いてあり、箱の中身を見たら、自分が皇后杯でチームの為に何をすべきかを書いてと言われ、

『どんな贈り物なんだろう』と思いながら箱を覗き込んでみると、箱の底には鏡が貼ってあり自分の顔が見えた。皇后杯 1 戦目のロッカールームのホワイトボードに、それぞれがその時に書いた紙が張り出されていて、それを見てから試合に挑んだ。

.....

各々がその時の自分の役割をしっかりと理解して、チーム一丸となって戦えた良い大会でした！それが皇后杯 2 位という結果に繋がったのではないかなあとと思います！

大学卒業後、海外のリーグに挑戦することを考えていた自分が、トヨタ自動車への入社を決めた数ある中の理由のひとつに、自分の母国である日本、地元のコミュニティに give back したいというものがありました。プレーオフ優勝という目標達成のために尽力することはもちろんですが、コートで自分を表現することによって、1 人でも多くの方に希望を与えられたらいいな、という思いを持って入社しました。

そして、もうひとつ魅力を感じたことがあります。自分は、トヨタ自動車が創業以来から大切にされている会社の価値観や信念に、ものすごく惹かれました。自分自身のフィロソフィー※1 や、日頃から大事にしている習慣と重なる部分も多く、オン・ザ・コート、オフ・ザ・コート共に自分なりにではありますが、TOYOTA WAY を実践してきました。怪我が続き、なかなかコートでそれを表現することができなかったのは心残りではありますが、2年間アンテロープスの選手として、TOYOTA をレペゼン※2 出来たことを誇りに思います。

※1:philosophy…物の考え方、価値観 ※2:represent…代表して、象徴する

リハビリ、トレーニング、練習、試合、身体のメンテナンス、他にもありますが、自分は常に目の前のことと100%で向き合ってきたと、自信を持って言えます。必ずしもそういった努力が実るとは限りませんが、自分がどんな時もコントロール出来ることは、常に全力を出し切ることです。日々のチャレンジにいつも尽力してこれたのも、自分をサポートしてくれる家族、友人、チームメイト、チームスタッフ、ファンの方々、そしてトヨタの従業員の皆様という強力なチームがあつてこそです。

2年間という短い時間ではありましたが、入社当初から温かく迎えてくださり、支えてくださった従業員の皆様には本当に感謝しています。ありがとうございました！

Thank you for all the support throughout my time here. It's truly been an honor representing TOYOTA for the past two years. Nothing came easy and had a rough time not being able to play with all the injuries, but I always kept a positive mindset towards the challenges that came my way. Although it wasn't exactly the kind of basketball career I wished or imagined to have here, I learned so many valuable life lessons. I'm ready for a new chapter in life, and excited to see what the future holds!

Rina Hill

アンテロープスファンの皆様、2018-2019のシーズンを持ちまして、アンテロープスを退団することにいたしました。

復帰を待ち望んでくれていた皆様、そして、入社当初から自分のプレーを楽しみにしてくれていた皆様に、来シーズン元気な姿を見せられないことを悔しく思います。この2年間大きな怪我が続き、悪戦苦闘の毎日でした。復帰までの道のりも決して簡単なものではなかったですが、常にポジティブなマインドを持って、2シーズン戦いました。試合会場で『復帰待ってるぞ!』、『トレーニング頑張ってください。』などの声を掛けて頂いたり、SNS等で応援メッセージを送って頂いたり、ファンの皆様一人ひとりの言葉が、大きな助けとなったことも何度もありました。

自分はバスケットボール選手である前に、ひとりの人間です。この人を応援したいな、と思えるような人間、そして若い世代へのロールモデルになるような人間でありたいと考えています。バスケットボールのパフォーマンスを観てファンになって頂けるのはもちろん嬉しいですが、ヒル理奈というひとりの人間のファンになって頂けていたら、それほど幸せなことはありません。

様々な気持ちの葛藤があったこの2年でしたが、色々な経験を経て、人として大きく成長できた、自分のこの先の人生にとってなくてはならない、大事な2年間でもありました。人生の次の章でも応援して頂けたら嬉しく思います。

2年間本当にありがとうございました！

ヒル 理奈